

特別展

「ウメサオタダ才展」

みんなく初代館長・梅棹忠夫の軌跡をたどり未来をみつめる特別企画展

日本などのような問題も、日本だけでは解決できない、そんな現代だからこそ、世界への知的好奇心は欠かせません。世界中にあるさまざまな感動を記録した、梅棹忠夫の生涯を、みんなくで「探検」してください。そして、世界へのあくなき好奇心をお持ち帰りください。

会期 3月10日(木)～6月14日(火)
会場 特別展示館

企画展

「民族学者 梅棹忠夫の眼」

梅棹忠夫が、世界各地で自身が撮影した写真のなかから自ら46点を選び、国内各地で開催した写真展「民族学者 梅棹忠夫の眼」を再現します。

会期 3月3日(木)～6月14日(火)
会場 本館展示場内

※特別展関連のみんなくセミナーや名誉教授が登場するみんなくウィークエンド・サロンについては13ページ、24ページをご覧ください。

オセアニア展示・アメリカ展示オープン
3月17日にオセアニア展示・アメリカ展示が生まれ変わります。あらたなオセアニア・アメリカを体感してください。

「春のみんなくフォーラム2011」
「ことばの世界へ」

会期 開催中～3月31日(木)

関連イベント

◆公開講座

「ことばで世界一周」
世界各地のちよつとめずらしいことばの入門講座。90分で完結する講座を23言語で開催します。

時間 13時～14時30分(ただし3月6日(日)は11時～12時30分)
定員 各講座30名(高校生以上の方対象)

※参加無料、要申込
※各講座の申込状況などについてはホームページでご確認ください。

◆特別講演

「こみたらう ことばをかたる」
ことばで絵の世界を表現してこられた絵本作家五味太郎さんにそのゆたかな言語観をことばで描いていただきます。

日時 3月6日(日) 15時～16時30分(開場14時30分)
場所 講堂

定員 450名
※参加無料、申込不要(先着順)

国際シンポジウム

「日常」を構築する——アフリカにおける平和構築実践に学ぶ」

日時 ①3月5日(土) 13時～17時(講堂)
②3月6日(日) 10時～17時5分
(第4セミナー室)

※参加無料、申込不要
お問い合わせは左記メールアドレスにお送りください。
suzuki.c@dc.minpaku.ac.jp

国際シンポジウム
「世界の捕鯨文化の過去、現在、そして未来」
人類とクジラとの関係は歴史的に大きく変化してきました。世界各地の捕鯨文化の過去、現在、そして未来について紹介し、検討します。

日時 3月13日(日) 13時10分～16時30分
場所 第5セミナー室

※参加無料、申込不要
お問い合わせ
岸上研究室
電話 06-6877-6215(代表)
FAX 06-6877-6216(研究部)

公開ダンスワークショップ

「インド刺繍の思い出と出会い・願いでつながる」
インド西部の刺繍の出会いをもとに、ダンス表現を創り、発表するワークショップです。

日時 3月19日(土) 13時～17時
3月20日(日) 10時～15時
場所 第5セミナー室、第7セミナー室など
※要申込(見学は自由です。詳細はホームページで)

春のこどもワークショップ
「結びなにな?」糸を括って、染めて、織ってみよう」
「結びなにな?」と呼ばれる技法で小作品をつくりながら、世界各地の染織技法の特徴や文様について学びます。

日時 3月21日(月・祝) 10時30分～16時
定員 12名(小学4年生以上の方対象)
※要申込(詳細はホームページで、材料費の実費500円が必要)

お問い合わせ
情報企画課デスク
電話 06-6877-8532

みんなく春の遠足 校外学習事前見学&ガイダンス
春の遠足・校外学習にむけて事前見学に来館される学校団体の先生方を対象としたガイダンスを開催します。生まれ変わったアメリカ・オセアニア展示についても研究者が展示場で説明します。
実施日 4月5日(火)、4月7日(木)、4月8日(金)
時間 14時～17時
場所 第5セミナー室ほか

みんなくセミナー

会場 国立民族学博物館 講堂

時間 13時30分～15時(13時開場)

定員 450名(当日先着順)

参加費 無料(展示をご覧になる方は、観覧料が必要です)

第394回 3月19日(土)

「特別展「ウメサオタダ才展」関連

みんなく誕生

講師 佐々木高明(国立民族学博物館 名誉教授)

聞き手 小長谷有紀(国立民族学博物館 教授)



みんなく初代館長 梅棹忠夫の軌跡をたどり、その思想の先見性と行為の実効性を再発見する特別展を開催します。この展示にちなんで、佐々木高明二代目館長を招き、創設前夜についての話を聞きながら、私たちに託された未来を考えます。

第395回 4月16日(土)

「特別展「ウメサオタダ才展」関連

霊長類学からみたウメサオタダ才の文明論

講師 山極寿一(京都大学教授)



梅棹忠夫の名著『文明の生態史観』は、現在の先史学や霊長類学の発見と照らし合わせてみても、その輝きは失われていません。人間共同体の歴史を生活様式の変化ととらえ、生態学の遷移概念を用いてそこに段階的な法則を見出そうとしたところが新しい発想でした。それを、人類の進化と自然に学ぶ市民力の歴史としてとらえ直してみます。

友の会

友の会講演会(大阪)

会場 国立民族学博物館 第5セミナー室
定員 96名(当日先着順、会員登録必須)

第394回 4月2日(土) 14時～15時
「特別展「ウメサオタダ才展」関連

ウメサオタダ才のすべて

講師 小長谷有紀(国立民族学博物館 教授)

梅棹忠夫先生は、35,000点を超える写真をはじめ、スケッチやカードなどあらゆるものを記録としてとられました。この膨大なアーカイブを「発掘」してゆくと、梅棹先生の思考形成、知的生産の過程をうかがい知ることができます。この作業はまさに「ウメサオタダ才」の世界を「探検」することでした。この「探検」の中から見えてきた成果をお話しします。
※講演会終了後、見学会があります。

東京講演会

第96回 3月26日(土) 14時～15時30分

「特別展「ウメサオタダ才展」関連

「梅棹忠夫 語る」の背景

講師 小山修三(吹田市立博物館館長、国立民族学博物館 名誉教授)

会場 埼玉大学東京ステーションカレッジ

定員 80名(要申込)

第97回 4月30日(土) 14時～15時

「特別展「ウメサオタダ才展」関連

梅棹忠夫の人となり

講師 石毛直道(国立民族学博物館 名誉教授)

会場 東京都中小企業会館講堂(銀座座)

定員 130名(要申込)

第78回民族学研修の旅

遙かなるヒザンツ文明の現在

民族と宗教のモザイクの歴史をひもとく

5月12日(土)～25日(水) 14日間

訪問先：ブルガリア、マケドニア、ギリシャ、トルコ
古い修道院やモスクをはじめ、マケドニアの街並みなど世界遺産も数多く残るバルカン地域を訪ね、多文化多民族が共存してきた歴史をたどりま。

※詳細は上記「友の会」までお問い合わせください。

国立民族学博物館
ミュージアム・ショップ

電話 06-6876-3112
FAX 06-6876-0875
e-mail shop@senri-f.or.jp
水曜日定休

ウェブサイトもご覧ください。
オンラインショップ
「World Wide Bazaar」
http://www.senri-f.or.jp/shop/

大風呂敷と小風呂敷

「いろは紋」や「四季紋」で知られる染色家、芹沢銈介によるデザインの大風呂敷をとりそろえています。カバンにのせてエコバッグとして利用するだけでなく、壁掛けやテーブルクロスなど、インテリアにしていれてもおしゃれです。新生活をはじめられる方や外国の方への贈り物にもおすすめです。
日本の伝統文化が息づく風呂敷を、すてきなアイデアで使いこなしてみませんか。



55cm幅 1,050円
70cm幅 1,575円
100cm幅 3,150円 など

申込方法
みんなくホームページから参加申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、FAXにてお送りください。
お問い合わせ
広報企画室広報係
電話 06-6877-8560

●無料観覧日のお知らせ

3月13日(日)は万博公園ふれあいの日のため本館展示・特別展を無料で観覧いただけます。

*詳細については、みんなくホームページをご覧ください。

*お問い合わせの受付時間は平日9時から17時です。

刊行物紹介



■小長谷有紀・川口幸大・長沼さやか編
『中国における社会主義的近代化——宗教・消費・エスニシティ』

勉誠出版 定価：4,200円

中国の人々はどうような価値観を持ち、いかに日常を生きているのか。隣国理解のための最大の鍵である「社会主義」という多面体を、宗教・信仰、消費システム、少数民族問題というアプローチから、民衆の暮らしのなかに読み解く。常に最大の関心事である中国と偏見なく対話するために、私たちは「他人」になることをやめよう。